

令和5年10月16日

令和5年度 第2回岡山県健康の森学園支援学校運営協議会 記録議事録

進行:上野副校長

記録:杉山

1 開会

○岡本会長挨拶

ネイチャートレイルの活用等の話が中心になりますが、活発な協議を行い有意義な会にしていきましょう。

○定久校長挨拶

第1回学校運営協議会で本校への思いを伺いました。本校の広大な自然を活かした教育が行えるよう、ご意見ください。

2 議 事

本日、宮崎委員、山本委員の2名が欠席。

(1) 学校の取組(協働活動)についての説明(鈴井総括教務より)

【前期の取り組み】

○地域貢献活動

小学部:アンテナショップ手作りカレンダーを地域の方に配布

中学部:学部作業学習で作成した製品を農産班に納品

高等部:地域貢献活動(清掃班)校外清掃 (石けん班)校外販売

アンテナショップ「森のおみせ」販売実習

○交流及び共同学習

小学部:本郷小学校、新砥小学校との交流(田植え祭り、ウォーキング等)

中学部:哲多中との交流(4年ぶりに訪問しての交流で、作業学習を行う)

高等部:キャリア教育講座(津山商業高等学校と接遇についての共同学習)

○学校支援ボランティア

小学部:「プール学習」の見守り

中学部:作業学習製品の製作方法についての伝達

高等部:アンテナショップ「森のおみせ」の営業補助

【今後の取り組み】

○地域貢献活動

小学部:芝生広場・管理棟の清掃

校内・園路の環境整備をしてくださっている方(森林組合)へアサガオの種をプレゼント

中学部:学園アンテナショップでの販売学習

高粱はたらくマーケットに学部作業製品を出品し、遠隔で接客体験をする。

高等部:アンテナショップで販売学習をする。(年間19回)

清掃班 校外清掃(12月、3月)

石けん班 地域貢献活動(12月、3月)

環境班 地域貢献活動(3月)

高粱はたらくマーケット出品と販売学習(12月)

○交流及び共同学習

小学部:本郷小学校との交流(会場:本郷小学校)

中学部:哲多中との交流(会場:哲多中)

高等部:キャリア教育講座(津山商業高等学校との流通についての共同学習)

(若林委員)津山商業高等学校との共同学習はどのような経緯で行われたのか。

(山崎高教務)進路の会につながり、共同学習を行うことができた。次回は、流通についての学習を計画している。

(長谷川委員)清掃検定とはどのようなものか。

(山崎高教務)清掃班が10月に校内検定を行う。(手順や正確に行えているか等)4~10級は校内検定で実施。
3級以上は県大会が行われる。

(2) 学校評価について(鈴木総括教務より)

○要項 P3 参照。R4 年度保護者アンケート、A+B の割合95%以上の項目が9項目。

- ・広大な自然を生かした教育
- ・施設と協力した学習活動
- ・個別の指導計画等に基づいた個に応じた支援
- ・複数の教員による指導の充実
- ・医療・福祉等の関係機関との充実
- ・保護者との引き継ぎの充実
- ・SNS等を利用した情報発信
- ・健康・安全教育の充実
- ・危機管理体制の整

○R3年度より向上した項目(3項目)

- ・施設と協力した学習活動 96%(2%↑)
- ・複数の教員による指導の充実 96%(2%↑)
- ・専門的立場からの支援 91%(1%↑)

○90%以下の項目が5項目。

- ・保護者への相談・研修の開催(80%)
- ・進路に関する情報提供(84%)
- ・保護者と学校が協力したPTA活動(88%)
- ・地域の人々や小中高との交流(88%)
- ・学部と寄宿舎との連携(89%)

(3) 学園見学

林産班「3の谷」まで行き、そこからは希望者がネイチャートレイルの見学を行った。

○会議研修室⇒林産班訓練舎⇒3の谷⇒畜産班前⇒会議研修室のルートで見学

※実際に委員全員が、ネイチャートレイルの見学を行う。

(4) 協議及び意見交換

学校よりネイチャートレイルの説明、活用等に関して、各学部の計画及び構想を伝え、協議及び意見交換を行った。

(上野副校長より)本校では、広大な自然を生かした教育活動を推進し、ネイチャートレイルを活用した教育活動を充実させたいと考えている。健康の森の管理は、岡山県保健医療部 健康増進課が行っており、ネイチャートレイルの整備については、修繕予算はないが森林組合への委託の範囲内でできることがあれば協力していただける。今回は、学園のネイチャートレイルの見学をしていただき、委

員の皆様から意見やご提案等をいただきたい。

(鈴木総括教務より)本校のネイチャートレイルの活用として、

小学部:(遊びの指導・生活単元学習)森の中に秘密基地を作って遊びたい。森の中に少し広めのスペースを確保して、アスレチック、落ち葉滑り坂、切り株のいす、山の落下物を探したり、集めたりして遊ぶ。低学年(1年生)もいるので、少し近場にアスレチックなどがあれば良い。手すりや段差への対応などがほしい。

中学部:(生単…理科的内容)「健康の森の秋を探そう」…ネイチャートレイルを歩いて秋の植物等を探す。(美術…「鑑賞」)「健康の森の秋を写そう」…ネイチャートレイルを歩いて秋の風景を写真に撮る

高等部:(体育)朝運動のコースとして、ネイチャートレイルを取り入れたコースを設定したい。

(理科・職業・家庭)山菜を採って観察したり調理をしたりして学習活動を展開したい。

協議テーマ『地域との新たなつながり』
～ネイチャートレイルの活用と整備

(田中委員)森の中には一般の方は入れるのか。⇒一般の方も入れる。

県より新見市森林活用の補助金がでていますが、その補助金を使うことができないだろうか。新見市林業振興課に掛け合ってみたい。また、一般の方も、森を利用することによって、『木育』などの効果もあるのではないかと。

(大倉高教頭)新庄村では、森林セラピーとして森林を活用した取り組みを行っている。ウッドチップをコースに敷いたり、ノルディックウォーク教室を行ったりしている。

(定久校長)先日、岡山県オリエンテーリング協会共催のオリエンテーリング教室が開催された。森の学園内に3コースの常設コースがあるが、認知度が低い。11月には、県大会が行われ、県外からの参加もある。

(赤木委員)小学部の森の基地づくりなど、共感できる。体験しながら遊ぶことが少なくなっている中、健森応援団としても、何かできることがないか模索している。看板の設置や、修繕等は協力できると思うが、整備となるとプロの方の協力や資金が必要である。

(岡本委員)学校としてどのような要望がありますか。

(城井田小教務)道路に飛び出さないようななどの、安全に活用できることが大切。また、児童が自分たちでやりたい気持ちが育つような場所になっていくといい。

(鈴木総括教務)コース内を安全に移動できれば、授業が広がり、色々な活動ができる。

(山崎高教務)山菜、キノコ採りなど一緒に山歩きをしてくださるガイドの方がいらっしゃるといい。

(岡本委員長)ネイチャートレイル活用をさらに具体的に説明していただきたい。

(山崎高教務)例えば、旬の食材を学習するにも、本来の自然の中から学べるといい。学習を通じて、自然に目を向ける心を育てたい。

(鈴木総括教務)森の中に入って、本来の自然を感じながら学ぶことができればいい。

(城井田小教務)山歩きを週1回行っているが、歩行が困難な児童もいるので学校から近い場所で活動ができるといい。

(中川委員)安全面で何かあったときの連絡方法など確認しておく必要がある。自然に触れながら体力向上を行うことはよいと思う。ネイチャートレイルを活用することによって、地域とのつながりが持てる方法を模索していくことが大切だと思う。

(山田委員)朽ちている木が多くあり、安全に活動できる環境を整えることが重要。倒木の撤去等を行うには費用が必要になってくる。最低限、安全に活動できる環境が整ってから、遊び場などの整備になると思う。

(吉岡委員)保護者の立場から、自然を活かした学習ができることは健康の森学園のよいところ。費用等のことを含め、アイデアを出し合って考えていきたい。

(長谷川委員) 子どもが小さい頃は、よく遊びに連れてきていた。備北青年の家があったときは、地域の方がよく歩きに来ていた。また、主催事業を行い地域の方を触れあることができた。地域の方を巻き込みながら、取り組みができたらと思う。

3 諸連絡

(上野副校長より) 第3回学校運営協議会 令和6年2月5日(月) 10:00~

4 閉会挨拶(吉岡副会長)

学園見学ができ、良い機会でした。3回目までの会までに、今後とも学校のためアイデアを出しながら活動していきましょう。